



子どもの支援に役立てたい！

令和5年度

子どものことをもっと知りたい！

KIDS COLOR 講座

—特別な配慮が必要な子どもの理解と支援—



皆様、お待たせいたしました！コロナ禍で自粛しておりました KIDS COLOR の「特別支援教育支援員養成講座」が復活です！講座の仕組みをリニューアルし、受講しやすく、ご自分の学びの足跡が残せる **かたち** になりました。

障害がある、又はその可能性がある子どもたちの個々のニーズは多様です。目の前の子どものためにどんな支援が必要なのか、子どもの行動の背景にはどんな困難さがあるのか、という視点に立ち、『子どもにとってどうか』を考え行動できる大人であることをねらいとします。

受講要領

全日まとめて受講希望の方は、受講料 25,000 円です。（申し込み時、振込先をお知らせします）

単発で受講希望の方は、1 コマ 2,500 円、1 日講座は 4,000 円です。単発の方は、講座日に受付で受講料をお支払いください。子どもの教育、保育、支援に携わる方、お子さんやお孫さんの発達に関して不安をお持ちの方、とにかく何か学んでみたい方、等どなたでも受講いただけます。

申し込み方法

KIDS COLOR 講座専用 Google フォーム（QR コード）から必要事項を入力して送信してください。後日講座の詳細、振込先等をお知らせします。1 週間経っても返信がない場合やご質問がある場合は、お問い合わせください。

受講方法

申し込み時の情報をもとに『受講カルテ』を作成します。受講当日受付でカルテを受け取ってください。受講後、受講印を押します。KIDS COLOR の講座を受けるときは毎回カルテをご持参ください。全日受講された方は、講座最終日に KIDS COLOR 講座修了印を押印します。（修了証とさせていただきます）このカルテは永久保存版にさせていただき、講座資料もファイリングし、ご自身の学びの記録としてご活用ください。



KIDS COLOR 講座の特徴

KIDS COLOR は『人とのつながり』を大切にしています。人は1人では生きていけません。必ず支え、支えられて生きています。困っている人が身近にいた時、自分が困っている時、支え、支えられる良好な関係づくりを自らが作っていきましょう。「支援をする」と言うことも同じです。決して「支援してあげてる」と勘違いせず、感謝の気持ちをもって行動しましょう。その相手が子どもであっても同じです。そのために、KIDS COLOR の講座では、講師からの学びだけでなく、受講者同士のグループワークを多く取り入れます。自分の意見も他人の意見も大切にすることがねらいです。以上、ご理解の上、受講してください。





講座日	講座名	講師名	到達目標
①7/15 (土) 10時～12時	オリエンテーション 「特別な配慮が必要な子どもとは」 「支援員とは」	KIDSCOLOR	KIDSCOLOR 講座の目的を理解する。「特別な配慮が必要な子ども」について理解する。 「支援員」の職務について知る。
② 13時～15時	通常学級の発達障害児の学びをどう保障するか	田中裕一 元文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官 兵庫県立山の学校 校長	障害のある子どもを支える制度について知る。通常学級に在籍する発達障害児の学びの保障について理解する。
③7/30 (日) 10時～12時	読み書きが苦手な子どもの見る力	茅野晶敬 JOA オプトメトリスト 特別支援教育士 (S.E.N.S) 視覚発達支援「あおぞら」	視力が良いのにも関わらず、読んだり書いたりすることが苦手な子どもたちがどのような見え方をしているのか理解を深める。
④ 13時～15時	子どものことばの育ちを支える支援	石田有紀 言語聴覚士 「SmileTime すまいるたいむ」	話すこと、聞くこと、読むこと、書くこと、すべてが、生きる力に繋がっていることを学ぶ。
⑤8/6 (日) 10時～12時	未来を拓く中学校での合理的配慮	三村紫十美 星槎名古屋中学校校長	10代の子どもの心や学びを支える中学校での合理的配慮について星槎中学校の実践から学ぶ。
⑥ 13時～15時	教育を受ける権利の保障と ICT 活用 ～読み書きの支援を中心に～	相羽大輔 愛知教育大学 特別支援教育講座 准教授	視覚障害教育の立場から、教育を受ける権利を保障するための合理的配慮の1つとして、教科書デジタルデータを含む音声教材、教科書用特定図書の導入・活用など読み書きの支援を中心に ICT 活用を概観、様々なデジタル教材を紹介する。
⑦8/19 (土) 10時～15時	子どもの行動の見方・捉え方・支援の考え方 <1日講座>	小林正人 愛知県医療療育総合センター 中央病院 心理士	子どもの行動の背景には様々な要因がある。子どもの行動の捉え方を学び、適切な支援について考える。
⑧9/9 (土) 10時～12時	当事者から見た支援	神山忠 ディスレクシア当事者 元主幹教諭 岐阜特別支援学校地域支援センター長	ご自身が当事者であり、教員でもあった経験から、子どもの頃のつらい学校生活で、こんな支援があったら、...という話から支援のヒントを得る。
⑨ 13時～15時	当事者の気持ち・家族の気持ち	本庶暁 発達性ディスレクシア当事者 中村優子 桃山会会長	当事者、又は当事者の家族のお話を伺い、本人の気持ちに寄り添った支援について理解を深める。
⑩9/23 (土) 10時～12時	特別の教育課程の編成と指導計画の作成	小川純子 金城学院大学・桜花学園大学等 非常勤講師	学習指導要領作成や文科省著作教科書・解説書作成に携わった講師から特別の教育課程について学び、子どもにとって適切な指導や必要な支援について考える。
⑪ 13時～15時	授業のユニバーサルデザイン	堀部要子 名古屋女子大学文学部 准教授	通常学級におけるどの子どもにとってもわかりやすい授業作りについて学ぶ。
⑫9/30 (土) 10時～12時	カウンセリングマインド	河村洋子 春日井市スクールカウンセラー 公認心理士	子どもの支援に必要な様々な人との連携、より良い信頼関係を築くためのカウンセリングマインドを学ぶ。子ども同士の対人スキルアップにも活かす。
⑬ 13時～15時	LD/ADHD等の心理的疑似体験プログラム	KIDSCOLOR	読む、書く、聞く、見ることに困難な子どもたちの疑似体験を通してわかったこと、感じたこと、を受講者同士で深める。

- * 特別支援教育支援員（春日井市では学校生活支援員）について学びたい方は、全日受講が望ましいです。
- * 託児は行っておりませんが、保護者の責任の下、同伴しても構いません。
- * 講座の中で出てきた事例や個人情報については秘密厳守でお願いいたします。
- * 会場は未定です。決まり次第ご連絡いたします。春日井市内の施設を利用します。



受講申し込み Google フォーム→



お問い合わせ：090-4163-4365（志村） 後援：春日井市教育委員会